

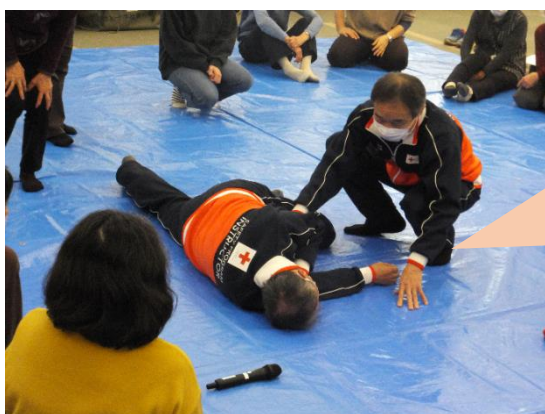
第9回 災害時看護師等ボランティア研修会

令和6年2月9日（金）14:00~15:30

丸亀市保健福祉センター研修会議室 1.2

参加者 28名

今回の研修会は、日本赤十字社香川県支部指導員の方々による講義及び実習を行いました。災害時直ちに手当が必要なのは、意識障害や気道閉塞、呼吸停止、心停止、大出血、ひどい熱傷、中毒（服毒）が起こっている場合だと教えていただきました。



体位については、原則として水平位にします。意識があれば、対象者に聞きながら最も楽な体位に、意識がない場合は、気道確保の体位（回復体位）にします。



保温は、毛布を上から掛けるだけでなく、全身を下から包み込むように（ラッピング）します。足元からも、毛布や上着を巻き込みます。



止血は、直接圧迫止血が一番確実に早いそうです。直接血液を触らないように、ビニール袋などを自分の手に付けて、傷口を直接押します。傷口に異物がある場合は周囲を圧迫します。

- ・以前とはやり方が変わっているところもあり、勉強になった。
- ・日常生活で活かせることもあった。
- ・家族とも共有したい など参加者からご意見をいただきました。
繰り返し、学んでいきたいという声が多く、引き続き研修会を企画していきたいと思います。